

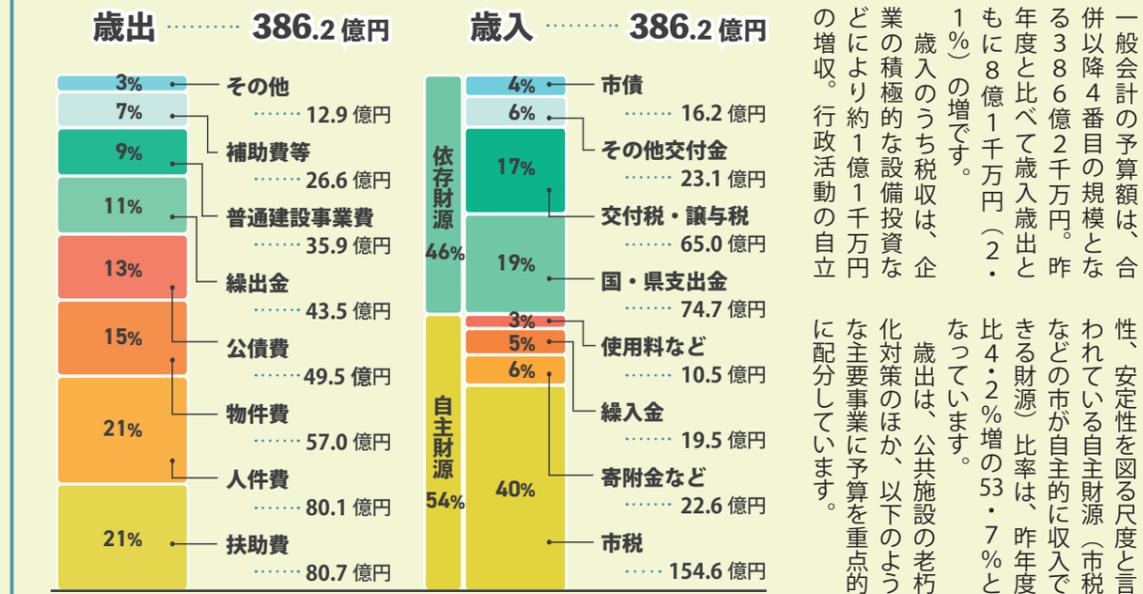
あつたか協働都市を目指して 令和5年度 当初予算

平成16年4月1日、2市1町1村の合併により誕生した本市は、来年度市制20周年を迎えます。
記念すべき節目の年を堂々と迎えるための「支度の年」である今年度。その当初予算は、

変化する社会経済状況への対応や、ウィズコロナ・ポストコロナ時代に更なる飛躍を遂げ、本市が目指す「あつたか協働都市」を実現するための各種事業を、積極的に進める予算としました。

Point

予算規模 386億2千万円
過去4番目の大きさ(一般会計)



一般会計の予算額は、合併以降4番目の規模となる386億2千万円。昨年度と比べて歳入歳出ともに8億1千万円(2.1%)の増です。
歳入のうち税収は、企業の積極的な設備投資などにより約1億1千万円の増収。行政活動の自立性、安定性を図る尺度とされている自主財源(市税などの市が自主的に収入できる財源)比率は、昨年度比4.2%増の53.7%となつていきます。
歳入は、公共施設の老朽化対策のほか、以下のような主要事業に予算を重点的に配分しています。

Point

人口減少・少子化対策
10事業に約1億1千万円

**友活・恋活
チャレンジ事業**
1,500万円

若い男女の出会いの場を創出するイベントを助成します

0歳児の一時預かり事業
800万円

1歳児からの一時預かりを0歳児に拡大します

**不妊症・不育症
治療費助成事業**
1,250万円

不妊症・不育症の治療に係る費用の一部を助成します

**子ども医療費助成事業
(拡大部分)**
5,400万円

助成の対象を18歳(高校卒業年齢相当)まで拡大します

その他 UJJターンの促進事業 900万円、子ども食堂支援事業 85万円
[新規] 養育費確保支援事業 50万円、プレアート体験事業 168万円
紙婚式事業 約621万円、保育業務支援システム導入事業 約1800万円

Point

著名人を起用したシティプロモーション

一般的に広く認知されている著名人を起用し、都市圏を中心に「日本の紙のまち」を効果的にPRします。PRには、これからの地域を担ってほしい若い若年層に親和性の高い電子雑誌や動画などを活用。自然や食、観光地などを含めた本市の魅力を伝えます。



シティプロモーション推進事業 2370万円

Point

行政サービスをもっと身近に
行政MaaS(マース)導入

市役所とオンラインでつながる多機能型車両を導入し、マイナンバーカードの申請や行政相談、選挙臨時投票所などの行政サービスを身近な場所にお届けします。
将来的には、マイナンバーカードを活用した証明書発行機能などを備え、移動出張所としての運用を目指します。



行政 MaaS 導入事業 約 1885 万円

※写真は全てイメージです

誰一人取り残さない
行政のDXを加速



DX 推進事業 約 1172 万円

紙のまちの
カーボンニュートラル



カーボンニュートラル推進事業 約 865 万円

事業所の新設・移転
などを促進



企業立地促進事業 約 1 億 6920 万円

公園などの照明を
LED化



公園等照明設備 LED 化事業 約 1 億 7080 万円

このほかにも、本年10月に愛媛県で開催され、本市ではラグビーフットボールと健康マージャンが行われる「ねんりんピック笑顔のえひめ2023開催事業」(1500万円)や今年で16回目を迎える「書道パフォーマンス甲子園事業」(1900万円)、妊娠から子育て期までの相談や経済的な支援を行う「出産・子育て応援事業」(約5094万円)など、引き続きあつたか協働都市を目指して、各種の事業を行ってまいります。

なお、今回掲載できなかった主要事業を含む令和5年度当初予算の内容は、財政課のホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

予算の執行状況や事業の実施状況は、今後本紙などで市民の皆さまにお知らせしていきます。

問い合わせ先
財政課
☎ 28-6007

予算の編成や執行を通じて財源の効率的な配分を調整するなど、市の財政運営を行っています。